



# さきやまぶ

里山辺公民館  
電話 32-1077  
FAX 37-0640

## 平成26年度 「里山辺地区立志式」を開催



参加者で記念撮影

2月21日(土)、教育文化センター視聴覚ホールにて、平成26年度「里山辺地区立志式」が行われました。  
立志式は、満15歳になる年、昔の元服にちなんで将来の決意や目標を明らかにすることで大人になる自覚を深めるための式です。  
当日は里山辺に住む山辺中、清水中、信大附属中に通う計69名の中学2年生の皆さんが参加されました。  
私自身も改めて良い学びの

場であるという思いと中学生だった当時の記憶を思い出しながら取材いたしました。  
最初、主催者のあいさつとして実行委員長の花岡公民館長より「皆さんは地域の宝であり、地域に生きるといふことを意識してほしい」などの話がありました。続いて丸山町会連合会長より、大人とは「社会に貢献できる人」であり、今日の立志式が自分の将来に夢や希望を抱き、志を立て目標意識を持ち生き方を考える機会になってほしいという話があり心に残りました。  
その後、地域を支えている方から学ぶということで松本市消防団第19分団の方の体験談がありました。  
続いて林町会の桂聰子さんによるフルート演奏とトークなどがあり楽しいひとときをすごすことができました。  
この立志式で贈られた言葉・経験が出席者皆さんの力になってくれることを願うとともにこの式が永く続いていくことを望みます。  
館報編集委員 塩原 司

## わが町紹介

● 上金井町会 ●

## 「協力戮力」の町会

上金井町会では里山辺の東端で、常念岳を正面に、アルプスの山並を仰ぎ、松本平を一望する景勝の地にあります。世帯数は101戸と少なく、古くからの住民が多いため、親密且つ協力的です。町会の行事を一部紹介します。全戸参加で完遂した、延べ2軒の防護柵は役員によって年4回程、点検整備を行って

「誇れる郷土作り」を主題に発足した「空地に花咲かそう会」では、矢崎橋周辺に菜の花を育て、春のしだれ桜と共に、素晴らしい憩いの場です。追倉沢沿い竹室橋迄はマリーゴールドが、夏から秋にかけて目の保養に。  
昨年開催の「花とアルプス鑑賞ウォーキング」は、講師の先生を招き秋晴れの中、町内の子供達とふれあい、楽しく貴重な一時を過ごしました。一本松(通称)で記念撮影の折、遙か遠く御嶽山の噴煙が見えました。以前は建御柱も行っていた山の神様は祭典、公民館で開催されました。  
最初に、まちづくり事業の紹介として里山辺地区は「地域づくりは挨拶からだ、大人も子供も挨拶ができるようになる」と目標を掲げ活動しています。その事業の一環として、エクセラン高校に依頼し挨拶運動のポスターの完成、また挨拶運動標語の募集で、小学生の部から一般の部までの入選作品が発表されました。  
意見交換の場では、「各町会のアパート住民が町会未加入者が多い。住民全員の顔が見える町会作りをしたい。」

秋の花を飾り甘茶で祝う、お薬師様の祭もあります。  
里山辺の体育大会では、人選に苦慮しながらも排球と綱引き、卓球に至っては団体と総合で優勝させて戴きました。少子高齢化が進む中、上金井町会も頑張ります。宜しくお願致します。  
上金井公民館長 浅輪 廣幸  
「少子高齢化に伴い、空室、一人暮らしの高齢者が、益々増え続けていく中、どの様な対応が求められるか。」などの意見がありました。  
私が一番驚いた事は、松本市の中心市街地に近い里山辺地区(湯の原・藤井)町会でシカによる農作物への被害の実態の報告などさまざま意見交換、提案がなされました。  
里山辺地区住民全員が同じ問題を共有し考えていく事が少しでも明るい町づくりに近づいていくと思います。  
館報編集委員 古澤 正就

## 皆で語る里山辺 まちづくりトーク開催



参加者からの活発な意見・提言

里山辺地区まちづくりトークが、2月15日(日)に各町会より70名が参加して里山辺



菜の花としだれ桜 (矢崎橋)

### 里山辺に春を告げる

「早春の夕べ」開催される



観客席を回る峰さん

3月3日(火)の夕方6時30分より、教育文化センター視聴覚ホールに於いて、「里山辺早春の夕べ」が開催されました。

木曾郡木祖村出身の歌手・峰ちはるさんが庄巻の歌唱力で歌う演歌に酔いしれ、ジュークを交えたトークや客

席を回って一人ひとりと握手を交わす気さくな人柄に触れました。また、歌手の故島倉千代子さんが病床で亡くなる直前にレコーディングをした「からたちの小径」を全員で歌って大いに盛り上がりました。

出演予定であった落語家の和泉家志ん治師匠が緊急入院をしたため、東京から見えた柳家ほたるさんの軽快な語り口による落語は、観客の笑いを誘い、もう少し聞いていたいと思う程でありました。今後、このような催しを是非とも継続して行つて欲しいと思います。館報編集委員長 丸山 健一

### 子どもを守る 時計おじさん

子ども見守り隊の皆さん、毎朝ご苦労様です。

2月5日朝7時10分、気温マイナス6℃、薄の宮の参道で山辺小の児童の7割(約250人、小松、林以外のほとんどの町会)が通る山辺小の通学路で見守り隊の活動ぶりを取材した。中澤弘光さん(前薄町町会長)が安全指導をしていた。中澤さんは7、8年前から毎朝年間通して7時から8時まで安全指導をし

ている。子どもたちが「おはようございます、今何時ですか」と挨拶すると、中澤さんは一人一人に時計を見て時刻を知らせる。子どもたちからは『時計おじさん』と呼ばれている。里山辺には、組織はないが見守り隊の皆さんが各町会で活動している。十数年前、児童生徒が通り魔的な犯罪で犠牲になる事件や、インターネットに「子どもを傷つけるぞ」等の書き込みが相次いだ頃から、地域の皆さんが善意で取り組みを始

めて下さった。中澤さんは「組織はいらないが、道路の横断の位置など学校の指導と矛盾しないかが心配だ」と言う。また、「子どものためにというよりやっている私自身子どもたちから元気をもらっている」とも言う。子どもたちの安全は、家庭も学校も地域社会も行政もみんな守らなければいけないことだ。お互い糊代を厚くしていきたいと思う。今回は薄町を取材したが、各町会で自主的に見守り隊を

### ざわやか健康教室 今年度最終回

●2月24日火曜日  
●午後1時30分から3時  
●講師 脳トレ・ヨガダンス  
●インストラクター  
青木 芽里先生  
●参加者18名で開催



アキレス腱は柔らかく

健康を保つには、運動・栄養・休養がバランス良く正三角形が保てるように心がける。体を柔らかく保つには、指令を出す脳を活性化し、体(特に膝から下の筋肉)を解せば全体が柔らかくなり、免疫力が上がる。のお話のあと、脳活ジャンケン、爪もみ、足もみ、特にアキレス腱を柔らかく、と迫力ある指導で納得しながら楽しく学習出来た。

今日から一つでも毎日続けよう。館報編集委員 細野 麗

実践して下さいている多くの方々に感謝と敬意を表すすはです。

里山辺公民館長 花岡 豪



時計おじさんこと中澤さん

### 歴史館の休館に寄せて 歴史館の思い出



休館になります

山辺学校 歴史民俗資料館が耐震工事に伴う諸工事のため平成27年4月1日から平成29年8月31日までの予定で休館となります。

皆様方には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

さて、私が本館にお世話になって以来、皆様方に発行した「歴史館だより」がこの3月で60号になりました。お読み頂き有り難うございました。

さて、最終号を発行するに当たり、それらに目をやってみました。パラパラと綴りを開いてみると、実に様々なことが思い出されます。参加者が集まらず困ったこと、途中で材料が足りなくなつてしまったこともありました。ご迷惑をおかけしましたが、今となつては思い出の一つとなりました。今日までの皆様方の温かいご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

山辺学校歴史民俗資料館 指導員 手塚 義雄